

2024

お星さまになった作家たち

2024年も残りわずかとなりました。今年は谷川俊太郎さん、中川李枝子さん、せなけいこさん、さとうわきこさん、矢玉四郎さんなど、日本の絵本界に最も大きな影響を与えてきた多くの作家がお亡くなりになりました。みなさんも子どものころに読んだことがあるのではないのでしょうか。

彼らの作品は、今後も図書館の棚に並び、未来の子どもたちに読み継がれ、夢を与え続けることでしょう。その偉大な足跡を振り返りながら、彼らの創り出した世界に想いを馳せてみませんか。

谷川俊太郎さんの詩は、人生の大切さや感情を詩で表現し、私たちの心に深く響いています。彼の言葉はシンプルなのに、人生や感情を考える大切なきっかけを与えてくれました。

11月13日没



中川李枝子さんは、『ぐりとぐら』シリーズでその名を知られ、温かみのある物語と親しみやすいキャラクターで、多くの読者の心に深く残ります。

10月14日没

せなけいこさんは、『ねないこだれだ』や『うさぎちゃんシリーズ』など、シンプルながら心温まる絵本で、絵本の中に優しさを宿しました。

10月23日没



さとうわきこさんは、『ばばあちゃんの絵本シリーズ』などで友情や愛情を描き、豊かな表現力で多くの子どもたちに感動を与えました。

3月28日没

矢玉四郎さんは、その鮮やかな色彩と独特な作風で、心に残る絵本を世に送り出しました。

7月14日没



Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.58 2024.12

清瀬市立図書館

13歳からの行動経済学
推し活中学生のお小遣い奮闘記

太宰 北斗／監修
ナツメ社



K-POPアイドルが好きで推し活をしたいけれどお小遣いが不足で悩んでいる中学1年生の萌。

ちょっぴりドジだけど行動力のある萌が、ひょんなことからマジシャン、古書店主、行動経済学者のジョージと出会います。そして、幼なじみのあおいと一緒にジョージからマジックと行動経済学を学び、それを生かして自宅の洋菓子店を手伝い、売上を伸ばしていきます。

本書では、行動経済学の基本的な考え方や理論を、難しい専門用語を使わずにわかりやすく説明しています。

買うか買わないか決断がつかない時や衝動買いをしてしまった時、読み返して行動経済学のアイデアを使ってみてください。

〈駅前図書館 阿部〉

本書は子役やモデル経験のあるインフルエンサーで、はるかぜちゃんの愛称で知られる春名風花さんがインターネットやSNSでのいじめに対する向き合い方について5人の方と対談する本です。

いじめられていた過去を持つミュージシャンや起業家の方から当時のことについてインタビューしたり、見えづらいいじめの対応策と心のケアを弁護士、いじめ探偵、精神科医などの専門家と考えたりします。いじめられていることは周りの人には相談しづらいものです。そんなときにこの本があなたの考え方のヒントになるはずです。

もしあなたがいじめられていなくても、いじめられている人の心に寄り添う優しさや考え方を知ることができます。ネットによって人間関係が難しくなった今だからこそ読んでおきたい一冊です。

〈中央図書館 宮本〉

**ネットでいじめられたら、
どうすればいいの？**
5人の専門家と処方箋を考えたい

春名 風花／著
河出書房新社



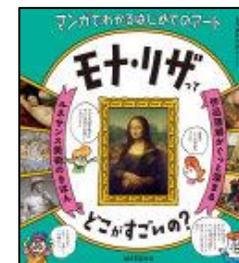
『モナ・リザ』みなさんも一度は目にしたことがあるでしょう。世界で最も有名な絵ともいわれ、夏目漱石もモナ・リザをテーマに短編を書いています。でも、何がそんなにすごいのでしょうか？この本は、ルネサンスの時代に描かれた絵画のどこがすごいのかを解りやすく解説してくれます。

モナ・リザが描かれたのは16世紀前半のルネサンスの時代。日本だと戦国時代、武士が戦っていたころです。モナ・リザの作者ダ・ヴィンチ、彼のライバルといわれたミケランジェロ、若き天才ラファエロなど、豊富なイラストで楽しく紹介しています。

ちなみに、モナ・リザが有名になったのは1911年に盗難事件にあってからとか。それまで注目されていなかったなんて、不思議ですね。〈野塩図書館 小島〉

**モナ・リザって
どこがすごいの？**

池上 英洋／監修
まつおか たかこ／画
誠文堂新光社



今日も明日も負け犬。

小田 実里／著
幻冬舎



この本は、朝、起きられない『起立性調整障害』という病気になり、学校に行けなくなった中学生の実話の物語です。

主人公は、保健室登校を始めます。しかし、午後には体調が良くなることが多く、周囲からは「甘えている」と受け取られてしまいます。病気のせいなのに、「ただのさぼり癖では？」と思われたら悲しい気持ちになりますよね。自分がこの本の主人公だったらどう気持ちになるかな？と自分事として考えて読んでみてくださいね。そうすれば、他の人に寄り添ったり、理解して受け入れることの大切さがわかると思います。

どんな時でも夢や希望を持ち続ける大切さも書かれているので、新しいことに挑戦したい時にも背中を押してくれる一冊です。〈駅前図書館 佐藤〉